

# とわだ

学校だより No.14

令和2年3月27日発行

HP <http://www.ink.or.jp/~tochu/>



## 卒業おめでとうございます ～第50回卒業証書授与式～

中学校3年間の課程を修了し、3月8日に「令和元年度第50回卒業証書授与式」を行いました。73名の3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。感染症拡大防止のため、卒業生と在校生代表生徒、教職員のみとなりました。3年生は、準備期間も無く、雰囲気も例年と違う中で戸惑いを感じながらも、旅立ちの日

にふさわしい、凜とした姿勢で臨み、心地よい緊張感に包まれながら、厳粛に式を終えることができました。その後、最後の学級活動の中でこの3年を振り返り、そして、玄関前で迎えに来ていただいた保護者の皆さん方から見送りをしていただき、温かな雰囲気にも包まれながら、この学び舎を巣立っていきました。

改めて卒業のお祝いをするともに、これまでのご厚情にお礼を申し上げます。そして、卒業生の今後のご活躍を祈っております。



## 送 辞

冬の寒さの中にも、春の気配が感じられる今日の良き日。三年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。私たち在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

これから、それぞれの新しい道への一步を踏み出そうとしている皆様は、入学してからの三年間をどんな思いで振り返っていらっしゃるでしょうか。特に最高学年としてのこの一年は特別なものがあったことと思います。

私たち在校生にとって、皆様はお手本であり、目標であり、時にはライバルのような存在でした。皆様の後ろ姿からは見習うべき所がたくさんありました。本当にありがとうございました。

さて、これから皆様はそれぞれ、輝かしい自分の夢・未来に向かって進まれます。

しかし、毎日が楽しいことばかりとは限らないと思います。時には迷ったり、嫌になったり、不安になったりすることがあるでしょう。

でもそんな辛い時こそ、この十和田中学校で過ごした日々を振り返ってみてください。仲間と共にごがんばったこと、つらかったこと、壁を乗り越えたこと、笑いあったこと、喜び合ったこと。

友達と過ごした日々はきっと未来の自分を助けてくれるはず。皆様は決して一人ではありません。この十和田中学校で巡り会った友人たちとの絆は、そんな背中を押してくれることと思います。

私たちがいつも頼りにしていた皆様のご卒業されることはとても寂しく、これからは自分たちが学校を引っ張っていかなければならないということに不安を感じています。しかし、私たち在校生は皆様から学んだ一致団結することの素晴らしさ、一人一人真剣に取り組むことの大切さを忘れず、絆と友情を育み、全校一丸となって積極性のある元気な学校にしていきたいと思います。

最後になりますが、たくさんの思い出を本当にありがとうございました。卒業される皆様の、さらなるご活躍・ご多幸を在校生一同、心から祈念して送辞といたします。

本日はご卒業おめでとうございます。



令和2年3月8日

在校生代表 竹澤 大矢

## 答 辞



新型コロナウイルスが世界各地で猛威を振るい、予想もできない事態が次々と起こっています。そんな中、今日は、私たちのために卒業式を開催していただきありがとうございます。

今回が十和田中学校五十回目の卒業式です。これまでの四十九回の卒業式でも私たちと同じように、仲間との別れを惜しみ、夢に向かって希望を膨らませた方々がいたことを思うと、十和田中学校の歴史の長さを感じます。

ちょうど三年前、小学校の六年間の学びを終え、希望を胸に中学校に入学した私たち。

そこから時は流れ、もう義務教育最後の巣立ちの時を迎えています。友と別れる寂しさとともに、大人として社会に飛び立たなければならないという自覚も出てきています。

思い出を少し振り返ってみます。

入学式。丈の合わない制服を着て、新たな生活に不安と緊張を感じていました。また小学校の時には馴れ馴れしく接していた先輩に敬語を使わなくてはいけなくなり、小学生との違いを実感しました。

中学校二年生。中二病と呼ばれる激動の時期ですが、私たちは中だるみもなく、充実した日々を送ることができました。

中学三年生。最上級生となり同時に受験生と呼ばれるようになりました。

最後の体育会。晴天に恵まれ楽しい体育会になりました。私個人としては、体調を崩してしまい、ロードレースに参加できず、苦渋をなめました。

最後の十中祭。学級が団結し、最高の合唱をつくり上げることができました。

楽しかった修学旅行。仲間とともに過ごした三日間は一生の思い出になることでしょう。

己を磨き、友と励まし合った部活動。

練習がつかつたり、思うような結果が残せなかつたりということもありましたが、部活動で鍛えた精神面は、これから私たちを支えてくれるでしょう。勇気と元気をくれたチームメイトや顧問の先生、そして、保護者の方にも感謝してはいけません。本当にありがとうございました。

惜別の時が刻一刻と迫ってきました。この学舎での思い出は生涯忘れることはないでしょう。卒業生七十三名が自分の夢に向かい、旅立ちます。時には、社会の荒波に飲まれてしまうこともあるでしょう。もし、そんな状況になったら、一人でもがき苦しむよりも、誰かと一緒に立ち向かった方が、成長への近道だと思います。

私たちを正しい道へと導いてくださった先生方、ご指導ありがとうございました。これからもどうぞ私たちを温かく見守ってください。

最後に、卒業を迎えることができたのは、紛れもなく、「家族」の存在のおかげです。

時には、私たちを叱咤激励し、時には苦楽をともにして、困難なことも乗り越えてきました。本当にありがとうございました。私たちはもっと成長し、必ず恩返しをしたいと思います。どうかこれからもよろしくお願ひします。

私たち卒業生は、希望を胸に新しい環境でひたむきに努力をしていくことを誓い、答辞といたします。

令和2年3月8日

令和元年度 卒業生代表 川島颯人



<卒業式DVD>

## 式 辞

記録的な少雪の冬が過ぎ、一足早い春の訪れとともに新たな希望を抱き、胸を躍らせる季節となりました。

本日、このよき日に、晴れて中学校卒業を迎えた73名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今年度はやむを得ず、学校が臨時休業する中での卒業式となりましたが、証書を受け取る皆さんの姿は自立心と決意の見えるもので、大変心強く思っています。皆さんは、十和田中学校創立50年目の卒業生です。それぞれの手にしている卒業証書の番号から想像できる通り、皆さんは9,000名を超える先輩方が築いた歴史と伝統の中で3年間学んできました。そして、これまでに、どれだけの人たちが皆さんとかかわり、見守り、支えてくれたことでしょうか。1日1日、喜怒哀楽を共にしてきた良き仲間たち、皆さんの健康と安全を気遣い絶えず激励しながら成長に寄り添ってきてくれた家族、そして、皆さんを地域の宝として見守り、学習環境や活動を支えてくれた人たち等、お世話になった人たちが皆さんに寄せてくれた思いを、卒業の節目を迎えた今改めて噛み締めたいものです。

今こうして3年間の中学校の課程を修了し、凜とした態度で卒業式に臨んでいる皆さんを目にした時に、この1年間皆さんが本校で成し遂げた活躍と成果が、最高学年らしい頼もしさという感動を伴って蘇ってきます。安定した学力を身に付け、日常は控えめな生活態度に映る皆さんが折々に見せる、一段質の高い個性が集まった輝きは決して記憶から消え去っていくことのない素晴らしいものでした。爽やかな晴天に恵まれた体育会、「限界突破」というテーマを掲げ皆さんの力強いリーダーシップの下、全校生徒が懸命に競技する姿には団結力の高まりが見えました。そして、2週間後に出発した待望の修学旅行、自分たちで考えて行動することを通して、首都東京を満喫し地元鹿角のよさも再発見しながら、多くのことを学ぶことができました。また、今年度の目玉行事の一つであった芸術鑑賞教室、東京フィル80名の演奏に合わせてベートーベンの第九を合唱したことは、生涯に残る貴重な思い出となることでしょう。そして、皆さんが一際強い意識をもって大成功に導いたのが、合唱コンクールと十中祭でした。合唱コンクールでは、各学級が心一つにして美しいハーモニーを会場に響かせ、十中祭ではTAPの活動による十和田の魅力発信を考えて、見応えのあるパフォーマンスを披露し、たくさんのお客様に喜んでいただきました。発表の仕上がりよさ、創造性に富んだ工夫、そして、一人一人の持ち味が十分に発揮された演出に、大変感銘を受けました。

更に、部活動や少年の主張大会、英語暗唱弁論大会等の課外活動に打ち込む姿も印象強く記憶に残るものです。運動部・文化部ともに、鹿角大会を始め全県、東北、全国大会と注目を集める活躍がありました。また、輝かしい成果に喜んだときばかりではなく、全力で臨んだにもかかわらず悔しい思いをしたこともありました。しかし、勝ったことから負けたことから学んだことは多いはずです。自分が選択した活動に日々真剣に向き合い、最後まで諦めずに力を尽した後の満足感や次のチャンスに賭ける想いは、皆さん自身の心の中に確かな信念を形作ってくれたはずです。努力は決して無駄にならず、苦難を乗り越えたからこそ得られた達成感や充実感を今後も忘れず大事にしていってください。

また、3年間の中学校生活の中では、楽しさややりがいのみならず、困難や苦しみを伴うことも少なくなく、つらかったり悩んだりしたこともあったかも知れませんが、容易には解決できない状況をも乗り越えるために、皆さんはアイデアを出し合い、協力し、挑戦し続けて、見事に最高学年に相応しい姿を後輩たちに示し、見違えるほどたくましく成長しました。互いのよさを認め生かしながら更なる向上を目指していく皆さんの姿勢を思い起こし、今後への期待感が大いに高まっているところです。

歌い慣れた校歌の歌詞にこんな一節があります。「郷土の誇り ここにうけつぎ、みずからをきたえ ゆかしくきよく、英知豊かに 伸びゆくところ」これまで皆さんは、この学舎で苦楽を共にし協力し合いながら、十和田中学校の校風と伝統である「開拓精神」をうけついで育ってきました。これからは、これまでうけつぎ育てたものを心の支えとして、一人一人がそれぞれの選択した道で未来を切り開くための挑戦をしていってほしいと思います。本校を始め、ふるさと十和田は常に皆さんを見守りエールを送っています。ここからが一人一人の生きる道と心得て力強く門出の一步を踏み出してください。

自分にとって一番大切なことを見失わないように。大切なことが見つかったら全力で向き合うように。そして、与えられる人から与える人へと少しずつ自分を大きく育てていきましょう。自分自身や出会った人たちの個性を楽しみながら、多くの人に安心と勇気を与えられる人に成長していつてくれることを願っています。

本校で積み重ねてきた挑戦と、鍛えてきた心が、みなさん一人一人の未来をより豊かに切り拓く力になるように心から期待を寄せて、式辞といたします。

令和2年3月8日

鹿角市立十和田中学校長 成田 新悦

## ありがとうございました 卒業記念品・42・33歳祝記念品

卒業に当たり、3年生から卒業記念品として、「応援用バスドラム」を寄贈していただきました。これまでの、和太鼓に代わり、激励会や各種大会での応援に大いに活用させていただきました。また、34期同窓生と25期同窓生の皆様から、42・33歳祝記念として、大判プリンターを寄贈していただきました。早速、卒業式の横看板の印刷に使わせていただきました。これからも多くの行事で活用させていただきます。



感謝  
謝

## 玄関前桜伐採・庭園剪定作業

2月28日に西村林業様・柳沢建設様・厚生部員有志の方々で、テングス病の桜の木の伐採作業を行っていただきました。来年度、50周年事業として植樹を予定しています。また、3月16日～21日に榊造園様から、庭園や学校周辺の樹木の剪定作業を行っていただきました。建物に迫っていた枝等も伐採していただき、とても安全になりました。



## 教職員定期人事異動 ～10名の先生とのお別れ～

今回の定期人事異動により10名が本校を去ることになりました。保護者、地域の方々にも大変お世話になったことと思います。本校や十和田地区での思い出を胸に、離任者の一層の活躍を祈念しております。

阿部 満彦 (退職・再任用 花輪中へ)  
佐々木 純 (大館市立北陽中へ)  
渋谷 実 (八幡平中へ)  
永井 孝史 (花輪中へ)  
澁谷 千里 (花輪中へ)

安保 正崇 (花輪中へ)  
阿部 匡宏 (十和田小へ)  
明石留美子 (大館市立有浦小へ)  
泉 舞 (秋田市立高清水小へ)  
関村 登子 (花輪中へ)

## 4・5月の行事予定 ～新年度を想定した生活を心がけよう！～

4 / 6日 (月) 新任式・始業式	5 / 1日 (金) 生徒総会
7日 (火) 入学式14:00～	3日 (日) 憲法記念日
8日 (水) 開校記念日	4日 (月) みどりの日
9日 (木) 身体測定	5日 (火) こどもの日
10日 (金) 新入生歓迎会	6日 (水) 振替休日
15日 (水) 専門委員会	9日 (土) 体育会予行 (出校日)
16日 (木) 部活動顔合わせ会	10日 (日) 体育会
19日 (日) 授業参観日・PTA総会・学年PTA	11日 (月) 振替休業日
20日 (月) 振替休業日	12日 (金) 振替休業日
27日 (月) 学校集金口座振替日	14日 (木) 交通安全教室
29日 (水) 昭和の日	15日 (金) TAPオリエンテーション
30日 (木) 職員会議	18日 (月) 避難訓練

4月25日 (土) 鹿角春季バスケ・鹿角春季バレー、4月26日 (日) 鹿角春季テニス・鹿角春季卓球、5月3日 (日) 鹿角春季陸上、5月3日 (日) 4日 (月) 鹿角春季野球、5月中旬全県春季大会は中止となりました。

※行事予定は、現在のところの予定となります。諸般の事情で変更することもありますので、ご了承ください。